

1月18日(土)開催の乳児の保育参観・親子触れ合い遊びの会終了後のアンケートより抜粋しました。

◆保育参観感想より

- 部屋での普段の様子を見て良かったです。おもちゃの紹介と一緒に子どもの発達についても教えていただき勉強になりました。あそびの中にある成長を知ることで、自宅と一緒にあそぶ時間を大切にしようと思いました。一日の中で少しでも一緒に向き合って遊ぶ時間を取ろうと思います。先生たちの人柄も伝わって良かったです。4月からクラスが変わると寂しいです。(0歳児)
- アレルギー対応などの様子など見れて良かったです。先生方に感謝の気持ちでいっぱいです。(1歳児)
- おやつ時子どもはなかなか食べませんでした。集団生活の中で同じ年齢の子どもの様子が見れて良かったです。親子でこまを作って普段一緒に作ることがないので良かったです。他の保護者の方とも少しお話をする機会があるといいなと思いました。(1歳児)
- 2歳児なりの普段の姿が見える保育参観でした。せいちょうするにつれてトラブルもあります。でも理由があつてのことも多くあるので人との関わりの中でたくさんの学びがあるのだと思います。皆経験しながら学んでいるんだなと思いました。社会のつながりに感謝です。(2歳児)
- かるた取りでは取れて嬉しい気持ち、取れなくて悲しい気持ちいろいろな感情が見られたが気持ちをどうにかコントロールして切り換える場面も見られ成長を感じることができた。(2歳児)

◆親子触れ合い遊びの会(にいみ木のおもちゃの会代表 藤本忠男先生)の感想より

- 家にいてもどんなあそびをと思う毎日ですが、この機会に家でできることを学びました。ただできていない現実も実感しました。なんでも工夫したら夢中になれるものもたくさんあるんだと思いました。
- 講師の先生のあそびに入る前段階が少し長かったのですが、聴講より子ども達と一緒に参加できる方が嬉しいです。
- 木のおもちゃだけではなく実験体験もあり大人も良かったです。子ども達もずっとクミノですっとあそび、大人もはまりました。
- 不思議だなぁ、なんでだろう、やってみよう!という子どもの感情を大切にしていきたいです。同じ玩具でも様ざまなあそび方があり、子どもと一緒にたくさん遊びました。木の香りや肌触りがよく、このような玩具で五感をしっかり鍛えて欲しいです!

令和7年 2月の保育園だより

『あそびは無限大』

～多様なつながりの生まれる保育園の中で～
立春が訪れるとはいえ寒波も到来。インフルエンザ、コロナ、感染性胃腸炎などの感染症の発症もまだまだ報告を受けておりますので健康管理にはご家族揃って気をつけましょう。

先月18日(土)は、乳児クラスの保育参観や親子触れ合い遊びの会(さくらんぼ会・生涯学習課の家庭教育学級との共催)を開催致しました。

年齢ごとのクラスで、生活やあそびの様子を参観していただき、保護者の皆様も子ども達の成長を実感された方が多かったことをアンケートの感想からも感じる事ができました。

その後、にいみ木のおもちゃの会代表の藤本忠男先生を始めとして、町内のボランティアの皆様12名(大学生2名、中学生2名、小学生1名を含む)、生涯学習課の職員2名の協力を得ながら、親子触れ合いあそびの会を開催いたしました。

木のおもちゃや科学あそびのコーナーをボランティアの皆様とともにセッティングし、子ども達の「やってみよう!」と保護者の皆様には気軽に取り組むことができるあそび環境の中で、親子で一緒に遊ぶことであそびは学びであること体感的に学んでいただける時間になればという思いがありました。

長い棒を片手に皿回しに挑戦した保護者さんの中には、「はまってしまいました!」と子ども達より夢中になったという方もおられました。その様子を見ながら小学生が挑戦したり、傍に居た乳児さんもお皿を人さし指に載せて回しているかのような気分を味わっている場面もあり、その柔軟な発想は乳児期ならではのあそびの原点だとも感じた一瞬でした。

大学生の担当したバルンアートのコーナーでは、小学生は細長い風船が、いろいろな形に変化しながらお花になったり、動物になったりする経過を不思議そうに見ていたり、自分達でも形の変化の方法を習得しながら、自分のイメージしたものを

手先を動かし試行錯誤しながら作る姿がみられました。一方乳児さん細長い風船そのものを片手に持ち、床や机をツツツ叩いたり、両手に握り変えてアーチ型を作ってみたり、落ちていた空気つぎに関心を示し、ポンプを押ししたり引っぱったりして試してもいました。まさに素材や道具に自ら関わりながら主体となってあそぶ姿です。

何かの形ができることをつい大人は期待したり、それで安心したりしてしまいがちですが、乳幼児期には素材そのものの変化の方法を楽しんだり、あそびをあみ出していくプロセスの方が重要です。また何よりも行為そのものがあそびとなり、心や身体を育みながら感性を磨くことに大きな意味があるように思います。

いつもと違う雰囲気や異年齢や世代間交流の中ではありましたが、素材や環境に関わる乳幼児の子ども達を見ていると、あそびは無限大であり、大人がこうして遊ぶものと決めつけないことが、大切であることを実感された場面が保護者の皆様もたくさんあったのではないかと思います。

乳幼児期に子ども達は集中してあそんでいる時もあれば、動きが止まってボーッと見ているだけのように感じることもあります。しかしその時間も脳がいろいろな創造的な思考をしている大切な時間にもなります。つまりそういう時間に子ども達の脳は、ギアチェンジすることができたり、問題解決の糸口を自分で見つけたり、自己コントロールしながらお友だちとの関係性を構築していく力の土台作りをしていると言っても過言ではありません。

保育園での生活やあそびは、豊かな体験との中で培われる人との関係性を育む集団養育・保育の場です。子ども達が没頭し集中してあそぶ環境をつくったり、異年齢や世代間の交流など含め多様な関りの中で自己肯定感を育んだり、自分の考えを伝えたり、他者の思いに耳を傾ける場を整えたりなど職員も試行錯誤する毎日ですが、保育園だからこそできることを通して、一人ひとりの育ちを確認しながら寄り添いたいと思います。(園長)

幼児クラスの保育参観について

幼児クラスを対象に今年度最後の保育参観を下記の日程で開催いたします。子ども達の成長をご家族とともに確認できる場になればと思っています。

なお、家庭教育学級(講演会)などはありませんので、未入園児の託児はありません。

入園の乳児クラスの保育は、参観終了まで致しますので、2/13(木)までに各担任にお知らせください。

日時	2月15日(土) 全児午前9時までに登園 午前9時15分～10時15分
場所	年長(ひまわり・ふじ組)各クラス 年少(ちゅうりっぷ・れんげ組)各クラス 年中(すみれ組)2Fホール

※ 各クラスに一人ひとりのあそびの様子展示やコメントもありますのでお楽しみください。

令和6年度の新入児入園説明会、及び面接について

日時: 2月20日(木) ①9時45分～(幼児中心)
②13時30分～(乳児中心)

場所: 坂みみょう保育園2Fホール

次年度の新入の申込者に、入園説明会や面接の案内を2月中旬頃までには発送いたしますので、ご確認ください。

ご都合の悪い方は、調整することはできますので、保育園の方に連絡をください。

アンケートにご協力ください!

- ① 令和7年度さくらんぼ会役員募集のアンケートをまだ提出されていない方は、ご協力をお願いいたします。
- ② 園の運営に関する保護者アンケートを毎年一回お願い致しておりますが、今年度はきっぷノートでお答えいただくことになっております。期限は2/3(月)までですので、難しい場合は事務室にお問い合わせください。